

議員活動資料

■2008/08/03(日)

私の須坂にある県立高校4校の再編案について

須坂市内には4つの県立高校があります。普通科としての須坂高校、須坂東高校。実業専門学校としての 須坂商業高校、須坂園芸高校です。

夫々の歴史を誇り、多くの人材を輩出してきた実績と伝統があります。

須坂市、小布施町、高山村、長野市若穂地区(かつての上高井郡綿内、川田、保科が後に長野市に合併)、中野市、山ノ内町、長野市市街地の生徒がこの4校に学んでおります。

俄かに・・・この4校を3校に1校削減する案が県教育委員会より浮上しました・・・

須坂市、小布施町、高山村の住民は、「すわぁ～」とばかり騒ぎたち、何とかして現状の市内4校を守りきろうとしています・・・

私は今こそ私のが永年温めてきた構想が実現するときと思っております。即ち、須坂市内に須坂高校が1校であれば足りると考えています。冒頭でお示したとおり、すべての高校に「須坂」が付くからであり、そして県立高校であるからです。

「須坂高校」1校として、普通科、商業科、園芸科若しくは部として現状の学校を維持し、須坂高校の校歌を校歌として残し、夫々の高校の校歌を科歌若しくは部歌として残すことです。

須坂高校を単科高校から総合複合高校に変えるべきです。高校1年時は全員同じ校舎で学ばせ同じ校歌を歌わせませ。須坂東高を一般教養学部とします。

2年次(場合によっては1年次から)以降は、夫々の専門学部である普通科進学であれば現在の須坂高校の校舎に、商業科進学者は現在の須坂商業の校舎に、園芸科進学者は須坂園芸の校舎で学ばせるのです。

次第のメリットは、須高地域に住まう子弟の8割が「須坂高校に進学したい」志しがあること。この子弟（中学生）が「須坂高校」に進学して、同じ校歌を歌い、青春を過ごせることです。この若き日の誇りが、彼らの人生を大きく膨らませます。

高校進学は、人生の最初に試される「ふるい」であることは現実の出来事です。私はこの「ふるい」を極力避けるべきであると感じております。

「ぶそろいのリンゴ」であるがゆえに価値がある。須高の子弟を大きく包み、雄雄しく育てる絶好のチャンスであると感じております。今回の騒動を禍或いはマイナスと畳み掛けるのではなく、須高地域、須高の子弟の百年先を慮り、解決策を考えるべきであります。

須坂にある4高が大きく飛躍するチャンスをもたらったと思いませんか！